

■施策評価シート 10-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	長寿・介護
基本方針	いきいきとした高齢社会の実現	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	10-01-①	施策名	高齢者の生きがいがづくり・社会参加の促進

<p>施策の概要</p> <p>生きがいがづくりや健康の保持増進につなげるため、就労やボランティア活動等への参加の機会拡充に努めます。</p>

成果指標(単位)	「いきいきとした高齢社会の実現」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		29.0	30.5	32.0	33.5
実績値	27.5	23.0			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>実績値としては、令和2年度を下回り、目標値を6ポイント下回ったものの、70歳以上の市民に限定した場合は目標値を上回る31.7%が満足しているという結果を得た。 この要因としては、コロナ禍による活動の一部制限を余儀なくされるケースがあったものの、高齢者の生きがいがづくりや健康の保持増進に向けた場づくりや機会の創出にかかる取組や支援を継続的に実施できたことにあると考える。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>高齢者の健康の保持・増進にかかる取組や施設運営を進めるとともに、シルバー人材センターや老人クラブとの連携を通じて、高齢者の社会参加や生きがいがづくり、仲間づくり、健康づくり等の推進を図ることができた。</p>

<p>評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方</p> <p>引き続き、高齢者の健康の保持・増進や生きがいがづくりを推進するために、適切な施設運営や関係機関との連携を進める。</p>
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
シルバー人材センター運営・活動事業	商工観光労政課	○	令和3年度においては、草津市シルバー人材センターの入会登録者数は増加し、会員数は678人(前年度比1.0%増)、就労延べ人数は58,977人/年(前年度比3.2%増)であった。この要因の一つに、広報やWEB入会申込みのシステムを導入し普及啓発等を行い、会員拡大を図ったことが挙げられ、高齢者の就業機会の増大を図ることができた。
ロクハ荘管理運営事業	長寿いきがい課	○	指定管理者と協議のうえ、高齢者の生きがいがづくり、仲間づくり、多世代交流を目的とした事業の実施を行い、利用者の満足度の向上に努めた。
なごみの郷管理運営事業	長寿いきがい課	○	

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ねりんピック出場選手激励金支給事業	長寿いきがい課
老人福祉推進事務	長寿いきがい課
老人福祉法施行事務	長寿いきがい課
老人クラブ活動補助事業	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 10-01-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	長寿・介護
基本方針	いきいきとした高齢社会の実現	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	10-01-②	施策名	高齢者の健康づくり・介護予防の推進

施策の概要

要支援・要介護状態になることを予防し、元気でいきいきとした生活を送れるよう、介護予防の知識普及や地域での介護予防事業の展開等に努めます。

成果指標(単位)	「いきいきとした高齢社会の実現」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		29.0	30.5	32.0	33.5
実績値	27.5	23.0			

成果指標実績に対するコメント

実績値としては、令和2年度を下回り、目標値を6ポイント下回ったものの、70歳以上の市民に限定した場合は目標値を上回る31.7%が満足しているという結果を得た。
この要因としては、コロナ禍による活動の一部制限を余儀なくされるケースがあったものの、市民団体等との連携を通じた各種活動を継続的に実施できたことにあると考える。

施策の達成度評価

地域での介護予防体操や交流活動、啓発講座等を推進することにより、運動機能や認知機能等の維持・改善による健康づくりや介護予防につなげることができた。
また、各種出前講座を通じた普及啓発活動や団体への継続的支援を通じて、活動団体の維持・増加を図ることができた。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

地域が自主的に健康づくりや介護予防に取り組む機運の醸成を図るため、出前講座等による普及啓発活動や団体活動の支援に向けた継続的かつ効果的な取組等の企画・実施を進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
介護予防普及啓発事業	長寿いきがい課	○	介護予防のしくみ等についてまとめたパンフレットを作成し、広く市民に啓発した。
地域介護予防活動支援事業	長寿いきがい課	○	感染防止対策を講じながら、職員の派遣や必要物品の貸与など、個人や団体が介護予防に取り組むことができるよう支援した。
地域サロン推進事業	長寿いきがい課	○	コロナ禍により、一部のサロン活動が自粛となったものの、多くのサロンが感染防止対策を講じながら活動を継続することができ、一定の活性化を図ることができた。
高齢者フレイル予防事業	長寿いきがい課	○	高齢者がフレイル予防に取り組むことができるよう専門職と連携して普及啓発を行った。

■施策評価シート 10-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地域リハビリテーション活動支援事業	長寿いきがい課
一般介護予防事業評価事業	長寿いきがい課
介護予防ケアマネジメント事業	長寿いきがい課
介護予防通所介護相当サービス事業	長寿いきがい課
介護予防訪問介護相当サービス事業	長寿いきがい課
活動型デイサービス事業	長寿いきがい課
高額医療合算介護予防サービス費相当事業	長寿いきがい課
高額介護予防サービス費相当事業	長寿いきがい課
高齢者配食サービス事業	長寿いきがい課
住民主体支援事業	長寿いきがい課
審査支払事務	長寿いきがい課
生活支援型訪問サービス事業	長寿いきがい課
短期集中予防サービス事業(通所型)	長寿いきがい課
短期集中予防サービス事業(訪問型)	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 10-02-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	10-02-①	施策名	地域包括ケアシステムの深化・推進

施策の概要

安心な生活の継続に向けお互いに支え合う地域づくりを推進するとともに、医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく日常生活が送れるよう、家族や地域、医療機関・介護の人材が連携して、在宅生活を支援するサービスを包括的に提供できる体制を整えます。

成果指標(単位)	「あんしんできる高齢期の生活への支援」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		26.6	27.3	28.0	29.0
実績値	25.9	20.7			

成果指標実績に対するコメント

実績値としては、令和2年度を下回り、目標値を5.9ポイント下回ったものの、70歳以上の市民に限定した場合は目標値を上回る32.4%が満足しているという結果を得た。
この要因としては、コロナ禍による活動の一部制限を余儀なくされるケースがあったものの、地域や医療、介護等の様々な関係団体と協働により、支え合い、安心して暮らすことができる地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を継続・推進したことにあると考える。

施策の達成度評価

高齢者が医療や介護等の支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう各種サービスの実施や各学区にて「学区の医療福祉を考える会議」を開催し地域づくりを進めるとともに、草津市在宅医療介護連携センターを中心に多職種連携や相談対応等を通じて在宅医療と介護の連携を推進することができた。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

地域の医療福祉の関係機関や地域関係者、各種団体とのネットワークづくりを推進し、専門職と地域がともに高齢者を包括的に見守り、支える地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
高齢者総合相談・支援事業	地域保健課	○	高齢者の身近な相談窓口である地域包括支援センターにおいて、市民をはじめ、様々な関係機関や地域の活動団体等から延べ20,805件の相談を受けた。
生活支援体制整備事業	地域保健課	○	様々な団体等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化を図った。
生活支援体制整備事業	長寿いきがい課	○	生活支援サポーター養成講座を開催し、10名のサポーター養成を行うことにより、お互いに支え合う地域づくりの推進を図った。
在宅医療・介護連携推進事業	長寿いきがい課	○	多職種連携推進会議や在宅医療ネット会議、多職種連携交流会・研修会を開催し、医療と介護の連携に係る課題の共有や検討を図った。

■施策評価シート 10-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
緊急通報システム設置支援事業	長寿いきがい課
シルバーほっとカード発行事業	長寿いきがい課
地域自立生活支援事業	長寿いきがい課
ふとんクリーンサービス事業	長寿いきがい課
自動車改造支援費	長寿いきがい課
家族介護教室事業	長寿いきがい課
外出支援サービス事業	長寿いきがい課
高齢者成年後見制度利用支援事業(一般会計)	長寿いきがい課
生活管理指導短期宿泊事業	長寿いきがい課
地域ケア会議推進事業	長寿いきがい課
長寿祝金等支給事業	長寿いきがい課
日常生活用具給付事業	長寿いきがい課
福祉理髪サービス事業	長寿いきがい課
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	長寿いきがい課
老人小規模住宅改造費補助事業	長寿いきがい課
老人福祉施設入所措置事業	長寿いきがい課
老人福祉施設入所判定事業	長寿いきがい課
すっきりさわやかサービス事業	介護保険課
地域ケア会議推進事業	地域保健課
地域包括支援センター運営協議会運営事業	地域保健課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 10-02-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	10-02-②	施策名	認知症施策の推進

施策の概要

認知症についての正しい理解の促進と予防への取組を進め、認知症の人も地域で暮らす一員としての見守りや交流の広がりをつくるとともに、医療機関・地域包括支援センター・サービス事業所・地域・その他認知症の人およびその家族の支援者とのネットワークを強化することで、早期発見・支援体制の構築を図ります。

成果指標(単位)	「あんしんできる高齢期の生活への支援」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		26.6	27.3	28.0	29.0
実績値	25.9	20.7			

成果指標実績に対するコメント

実績値としては、令和2年度を下回り、目標値を5.9ポイント下回ったものの、70歳以上の市民に限定した場合は目標値を上回る32.4%が満足しているという結果を得た。
この要因としては、コロナ禍による活動の一部制限を余儀なくされるケースがあったものの、各種啓発活動や支援体制の構築を継続的に実施できたことにあると考える。

施策の達成度評価

医療や介護等の関係機関や地域と連携して、認知症に対する正しい理解と予防に関する啓発活動や互いに支え合うネットワークの構築等を通じて、安心なまちづくりの推進を図ることができた。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

草津市認知症があっても安心なまちづくり条例に規定する理念や方向性の実現に向けて、継続的かつ効果的な取組等の企画・実施を進める。
また、草津市認知症施策アクション・プラン(第3期)の最終年となることから、新たなプランの策定に取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
認知症総合支援事業	地域保健課	○	各地域包括支援センターに認知症地域支援員を配置し、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行った。
認知症総合支援事業	長寿いきがい課	○	認知症初期集中支援チームの活動を通じて、支援が必要な方を早期に専門機関につなぐことができた。
認知症施策推進事業	長寿いきがい課	○	草津市認知症施策アクション・プランに基づき、「認知症の正しい知識と理解を深めるための普及・啓発の推進」「認知症の人を含む誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進」に重点をおいた取組を実施した。
権利擁護事業	長寿いきがい課	○	高齢者虐待通報が30件あり、処遇検討会議を計10回実施するなど、虐待防止に向けた取組を行った。
高齢者成年後見制度利用支援事業(特別会計)	長寿いきがい課	○	申立費用および後見報酬にかかる補助金の交付や、裁判所に申立手続きを行うことができない場合の市長申立を行うことにより、高齢者の成年後見制度の利用を促進した。

■施策評価シート 10-02-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
認知症高齢者等探索システム利用支援事業	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 10-02-③

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	10-02-③	施策名	介護サービスの充実

施策の概要

要支援・要介護の状態にあっても、誰もがその人らしく豊かな高齢期を過ごすことができるよう、介護サービスの適正水準の維持・向上を図ります。

成果指標(単位)	介護保険サービスの標準給付費(千円)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		8,453,873	8,822,419	9,275,410	9,576,667
実績値	7,808,466	8,096,367			

成果指標実績に対するコメント

令和2年度の標準給付費(実績値)7,808,466千円と比較すると、令和3年度は8,096,367千円で約103.7%の実績となっており、草津あんしんいきいきプラン第8期計画の令和3年度計画値である8,453,873千円に対しては約95.8%の実績であり、おおむね目標としていた値となっている。
これは、介護給付適正化主要5事業(「要介護認定の適正化」「ケアプランの点検」「住宅改修等の点検」「縦覧点検・医療情報との突合」「介護給付費通知」)の取組の効果によって、介護給付を必要とする利用者を適切に認定し、利用者が真に必要とするサービスを介護サービス事業者が過不足なく提供することができたことが要因のひとつであると考えられる。

施策の達成度評価

令和3年3月に策定した「草津あんしんいきいきプラン第8期計画」(計画期間:令和3年度～令和5年度)における初年度にあたる令和3年度の目標値に対して、おおむね計画どおりの実績となっている。
高齢化の進展に伴う要支援・要介護認定者数の増加等を要因として、今後も介護保険に係る給付費が右肩上がりになることが想定されることを踏まえて、引き続き、適正な制度運用を行っていくことが課題である。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

適正な制度運用を行い、介護サービスの適正水準の維持・向上を図るため、引き続き、介護給付適正化の取組を継続する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
居宅介護サービス給付事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第8期計画策定時における想定をやや上回るものの、適正な給付を行うことができたため。なお、給付実績ベースでは前年度比約104.7%となった。
地域密着型介護サービス給付事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第8期計画策定時における想定をやや下回るものの、適正な給付を行うことができたため。なお、給付実績ベースでは前年度比約101.4%となった。
施設介護サービス給付事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第8期計画策定時における想定を下回るものの、適正な給付を行うことができたため。なお、給付実績ベースでは前年度比約105.6%となった。

■施策評価シート 10-02-③

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
高額医療合算介護サービス事業	介護保険課
高額介護サービス事業	介護保険課
高額介護予防サービス事業	介護保険課
すっきりさわやかサービス事業	介護保険課
地域密着型サービス等推進事業	介護保険課
特定入所者介護サービス事業	介護保険課
特定入所者介護予防サービス事業	介護保険課
訪問介護利用者負担軽減事業	介護保険課
介護予防サービス給付事業	介護保険課
介護予防サービス計画給付事業	介護保険課
介護予防住宅改修事業	介護保険課
介護予防福祉用具購入事業	介護保険課
居宅介護サービス計画給付事業	介護保険課
居宅介護住宅改修事業	介護保険課
居宅介護福祉用具購入事業	介護保険課
社会福祉法人助成事業	介護保険課
地域密着型介護予防サービス給付事業	介護保険課
特例介護予防サービス給付事業	介護保険課
特例介護予防サービス計画給付事業	介護保険課
特例居宅介護サービス給付事業	介護保険課
特例居宅介護サービス計画給付事業	介護保険課
特例施設介護サービス給付事業	介護保険課
特例地域密着型介護サービス給付事業	介護保険課
老人福祉推進事務	介護保険課
施設整備費補助事務	介護保険課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 10-02-④

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	10-02-④	施策名	介護保険制度の適正運用

施策の概要

介護保険制度等の理解促進と利用支援、要介護認定、ケアマネジメント、事業者のサービス提供体制および介護報酬請求においてチェック体制を整備し、適正化の取組を進めます。

成果指標(単位)	介護保険料収納率(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	99.0以上	99.0以上	99.0以上	99.0以上
実績値	99.6	99.6			

成果指標実績に対するコメント

令和3年度～令和5年度を計画期間とする草津あんしんいきいきプラン第8期計画期間における介護保険料収納率の目標値99.0%を達成しており、前年度に引き続き督促や催告等を含めた滞納対策等を行った結果である。

施策の達成度評価

- ・介護保険料収納率については、目標値を達成し、適切な徴収業務を実施できた。
- ・要介護認定についても、審査請求による審査差戻し等は発生せず、適正な運用を行うことができた。
- ・介護給付費の適正化の観点からは、ケアマネジャーに対するケアプラン点検の実施(62件)や住宅改修の事前確認、軽度者に対する福祉用具貸与のチェック等を通じて適正な介護サービスの利用促進を行うことができた。
- ・市内の地域密着型サービス事業所に対する書面確認による実施を含む実地指導(23件)により、サービス提供体制や介護報酬請求に関して事業者への指導を行うことができた。
- ・要支援・要介護認定者数の増加が見込まれる中、適正化の取組を継続することが課題である。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

- ・介護保険料収納率については、本収納率が維持できるように滞納対策等の徴収業務に取り組む。
- ・要介護認定については、認定件数が増加する傾向にあるが、適正な認定調査水準および審査水準を維持することで、不服申し立てによる審査差戻し等が発生しないよう、適正な認定審査に取り組む。
- ・介護給付費の適正化については、引き続き、ケアプラン点検や住宅改修の事前承認、軽度者に対する福祉用具貸与のチェック等を実施するとともに、運営指導を行い、適切な介護サービスの利用を促進する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
介護保険制度啓発普及事業	介護保険課	○	介護保険制度に関するパンフレットを郵送・配布することで啓発に努めた。また、広報くさつや出前講座を利用して介護保険制度の啓発を実施した。
介護認定事務	介護保険課	○	審査請求による審査差戻しが0人であり、年間を通じて適正な介護認定事務を行った。
介護給付費等適正化事業	介護保険課	○	ケアマネジャーに対するケアプラン点検の実施により、介護給付費の適正化を推進した。また、市内地域密着型サービス事業所に対して実地指導および集団指導を行い、介護サービスの質の向上に寄与した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
介護・福祉人材確保定着支援事業	介護保険課
介護保険事務処理システム運営事業	介護保険課
介護保険制度運営事務	介護保険課
介護保険料管理回収事務	介護保険課
介護保険料賦課徴収事務	介護保険課
国保連合会点検・審査手数料事務	介護保険課
国保連合会負担金事務	介護保険課
介護保険事業計画推進事業	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。